# せいきよう連ニュース

岡山県生活協同組合連合会 TEL: 086-230-1315 HP: http://okayama.kenren-coop.jp/

岡山県宮地副知事との懇談

【2月10日 県庁】

## 幅広い分野での取り組みと連携にむけて

岡山県宮地副知事との懇談を行い、生協連から3役と女性理事の7名が出席しました。

最初に生協から、地産地消や循環型農業、市町村との見守り等の協定締結、アマモ場再生、組合員が進めるボランティア活動、 災害に強いまちづくりや防災、子育て支援などの取り組みを報告 し、その後懇談を進めていきました。

宮地副知事から、生協の取り組みが幅広い分野で行われている



ことに感心され、特に地 産地消や産直、災害や見 守り協定の締結、子育て

支援などにふれられて話されました。また、TPP 以後を考えると乳製品や畜産関係の取り組みが大切であり、商品づくりなどおかやまコープの取り組みについて期待が寄せられました。

地方創生は、県が枠組みの策定と予算化を行い<mark>、市</mark>町村が3月までに計画を策定し支援していくことなど説明されました。

最後に県とおかやまコープが協議を進めている地域包括連携協定について、締結にむけて努力したい旨のお話を頂き、終了しました。宮地副知事に代わられて初めての懇談となり、生協の様々な取り組みを知って頂く機会となりました。

#### 岡山県行政との懇談会を実施 【2月10日 県庁】

## 行政との連携、生協の社会的役割と課題

くらし安全安心課、長寿社会課から参加頂き、県生協連からは10名が出席して懇談を行いました。

最初に岡野課長より生協の様々な取り組みに対しての評価、消費 者被害が高齢者を中心に増加していること、消費者ネットおかやま ではサポーター講座の取り組みや適格消費者団体となり大きな力と なること、消費者教育の大切さにふれて挨拶が行われ、県生協連よ り懇談開催のお礼、消費生活協同組合業務室の資料にふれて挨拶を 行いました。





続いて昨年10月に提出

した要望書に対しての回答が行われ、懇談に入りました。懇談では、 消費者団体との交流、地域の見守りネットワークの構築、介護事業 所の人手不足と待遇、総合生活支援事業、生活支援コーディネーター の養成と配置、食の安全や食育の取り組み、健康づくりなどについ て協議しました。今回初めて長寿社会課からも出席頂き、協議する 内容も増え、懇談として深まりました。引き続き行政と協力して生 協の社会的役割発揮にむけて取り組みを進めていきます。

## 生協が行う健康づくりの取り組みに共感

2月23日 保健福祉部健康推進課とヘルスチャレンジに関しての懇談を行いました。 医療生協から5名と県生協連から1名が出席し、健康推進課から2名対応頂きました。

生協より、厚生労働関係部局長会議資料にもとづいて、生協行政の基本的考え方にふれて説明し、その後岡山、倉敷、津山の各医療生協から活動の一部を紹介しました。

また、道廣理事より、ヘルスチャレンジの取り組みに対する説明を行い、7400を超える人の参加となり、健康づくりのきっかけとなったことや家族との会話が増え取り組まれた様子、小学校単位で取り組んだところなど寄せられた感想を中心に紹介しました。

懇談では、県行政から、ヘルスチャレンジについて多くの方の参

加が行われていること、県では 250 人から 300 人の参加で報告会は 50 人であったこと、ヘルスチャレンジに取り組んだ人の返信や感想など反応が多く帰ってきていることに感心を示されました。

今後にむけて、県との共催があり得るかどうか協議を行いました。すぐに形になるかどう<mark>か不明ですが、生協の活動に</mark>ついて、理解頂いた懇談となりました。

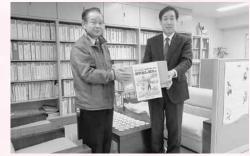
#### 署名用紙を提出 【2月16日 岡山県労福協事務所】

## 奨学金問題の解決を求める署名用紙を提出

労働者福祉中央協議会からの呼びかけで、会員生協の協力を頂き、 「給付型奨学金制度の導入・拡充と教育費負担の軽減を求める」署名



に取り組みました。大学生の2人に1人が、何らかの「奨学金」を利用しており、さらに不安定雇用や低賃金労働の拡大により、卒業しても返済に苦しみ、「返したくても返せない」人たちが増加しています。未来を担う若者を社会全体で支え、持続可能な



社会にするため、奨学金制度の改善と教育費負担の軽減を求めての署名の取り組みです。

医療福祉連合会や労働組合の関係からの取り組みもあり、当初目標からは少なくなりましたが、生協連全体で2,283筆となり、2月初めに岡山県労働者福祉協議会

木下専務理事に提出致しました。

2015 年度県生協連・会員生協 役員研修交流会 【1月8日 オルガホール】

## 情報を読み解く力を多様な考え方と女性の活躍

県生協連会員生協役員研修交流会を51名の参加で開催致しました。県生協連近藤会長から開会挨拶を行い、続いて岡山県くらし安全安心課岡野課長より、消費者をとりまく状況や消費者被害が複雑多様化している中、自ら考え行動する自立した消費者をめざして取り組みを進めていること、消費者ネットおかやまが適格消費者団体に認定され、被害の未然防止、拡大防止に期待していることなど挨拶が行われました。

山陽新聞社影山論説委員から「滴一滴からみえる地域・社会そして暮らし」



くらし安全安心課岡野課長



山陽新聞社影山論説委員

をテーマとして講演して頂きました。山陽新聞の「滴一滴」や「社説」について、初めての女性論説委員であり女性の視点から書いていることや「滴一滴」を書くために、日々考えながら生活している。

新聞は情報を読み解く力を養う役割を担っていること、いくつもある見方について、一面的な見方だけでなく、読者が判断してもらうことを意識して書いている。

社会全体でいろいろな人たちが働き続ける制度がようやく出来上がってきた。政

治の意志決定の場にこそ男女同数で行うことが必要であり、女性が声を出していくことの意味や女性が活躍するのは、経済のためではなく、平和のためだと思っていること、また、子育てと仕事の両立にむけて努力されていることなど貴重な話をしていて頂きました。つづいて**岡山大学倉地名誉教授から「絵図である〈岡山城下町」をテーマ**として講演をして頂き、江戸時代の古



岡山大学倉地名誉教授

地図をもとに、それぞれの時代を変遷しながら、岡山城下町が出来ていく過程について、話をして頂きました。 最後に県生協連平田副会長より、多様性の受入や生協の社会的役割を発揮していくことにふれ閉会挨拶が行われました。

2015 年度組合員活動交流集会を開催 【1月 25日 オルガホール】

## たれもが安心して暮らすことが出来る地域社会をめざして ~私たちが進めるまちつくり、健康つくり~

2015 年度の組合員活動交流集会を開催致しました。当日は雪に見舞われ県北中心に参加できない方が多数となりましたが、151 名の参加で実施しました。

岡山医療生協川崎順子常任理事が司会となり、「だれもが安心して暮らすことが出来る地域社会をめざして ~私たちが進めるまちづくり、健康づくり~」を全体テーマとして行ないました。主催者を代表して、県生協連近藤会長より開会挨拶を行い、講演は「あいうべ体操」の発案者みらいクリニック院長今井先生から「口を閉じれば病気にならない~あいうべ体操のススメ~」と題してお話をして頂きました。今井先生からは、口呼吸によって口腔内に雑菌が繁殖しやすくなり、同時に免疫系の働きも大きく阻害される。鼻呼吸の大切さ、口呼吸の改善は、アトピー皮膚炎やうつ病



みらいクリニック今井院長

などあらゆる病気の原因治療につながる。「あいうべ体操」を継続している人は、自然に鼻で呼吸ができるようになり、症状も改善していくことなど具体的な事例も含めて大変分かりやすくお話して頂きました。

会員生協の実践報告として **津山医療生協から「介護者のつどい」をテーマ**に 2014 年度のつどいの取り組みを踏まえて、2015 年度メンタルヘルスの学習やリラックス体操の実施、交流時間を大幅に増やし参加者の満足度を高めたことなど報告されました。

おかやまコープから「地域社会づくりへの参加の取り組み」をテーマとして自治体との協定の締結や見守り ネットワークへの参加、たべるたいせつ出前事業などについて報告されました。閉会挨拶を津山医療生協藤本

副理事長より行い終了しました。参加者からは、「話も分かりやすく、簡単にできることなのですぐに実践してみようと思います。講演がとても良かったです」「とてもわかりやすく楽しくためになる話でした。こどもにもさせてみようと思います。健康は誰もが関心をもてることなのでとても興味をもって聞くことができました」など良かった声が多数寄せられました。



消費者ネットおかやまが適格消費者団体に認定されたことを記念して講演会を開催し、120名が参加しまし た。消費者ネットおかやま河田英正理事長より、適格消費者団体として社会的責務を果たし公正で健全な消費 経済社会の形成にむけ役割を担っていくことの挨拶を行いました。来賓挨拶として、岡山県宮地俊明副知事よ り、消費者被害未然防止の取り組みが必要となっており、公正で公平な社会、生き活きおかやまの実現にむけ、

連携を密に消費者行政を進めていくことなど挨拶を頂きました。記念講演として

宮地副知事

板東久美子消費者庁長官より「消費者行政の現状 と課題、適格消費者団体に期待すること」と題し て講演をして頂きました。消費者被害、トラブル は複雑多様化してきており、特に高齢者の被害が 大きくなっていること、情報化によるインターネッ トでのトラブルも増加。「消費者安全確保地域協議



会」の構築について、イメージ図をもとに構成員として医療や福祉、警察、教 育関係、事業者関係ではコンビニや生協も含めた連携が大切であることを説明されました。

最後に適格消費者団体への期待として多様化・深刻化する 消費者被害に対して、一層の取り組みが必要となっており、 適格消費者団体による差止請求や訴訟が効果的であり、団体 の積極的な活動に期待していること、団体の一層の充実、機 能強化にむけ官民多様な連携も重要であることなどお話して 頂きました。閉会にあたり兒島副理事長から、適格消費者団 体として役割を発揮していくことにふれて挨拶が行われ終了 しました。



#### 【1月27日 オルガホール】 適格消費者団体認定記念レセプション

適格消費者団体認定記念レセプションを開催し、 46名の参加となりました。消費者ネットおかやま 河田英正理事長より主催者を代表して挨拶を行い、 続いて来賓として、消費者庁板東久美子長官、岡山 弁護士会吉岡康祐会長、岡山県司法書士会中桐達雄 会長から祝辞を頂きました。乾杯のご発声を岡山県 県民生活部亀森敏宏部長が行い、全員で乾杯してお 祝いしました。2005年から認定されるまでの10 年の「歩み」のスライドを上演し、その後、設立に



関わった近藤弁護士、小田愛媛大学教授、吉岡岡山大学教授、岡山県生協連近藤会長から祝辞や慶びの声が寄 せられました。



板東久美子 消費者庁長官





岡山弁護士会吉岡康祐会長 岡山県司法書士会中桐達雄会長



県民生活部亀森敏宏部長

# 会員生協トピックス



#### 岡山県学校生協



#### ≪相続税対策セミナーに延べ 148 名参加≫

学校生協では相続に関する法律の基礎知識、相 続対策や遺言書に関して税理士をお招きし、「相続 税対策セミナー」を開催しました。

日 時 2016年2月5日(金)、12日(金) 13:30~17:00

場 所 おかやま西川原プラザ 2F 大会議室 岡山市中区西川原 255 番地

参加者人数 2月5日91名、2月12日57名

演 題 1部 「相続税とその対策」

2部 「遺言の作成と相続税対策」

3部 個人相談

個別相談の内容は……「土地の評価額を正確に調べるにはどうしたらいいのか」、「自筆遺言書について詳しく教えてほしい」、「生前贈与を上手にする方法」等々……様々な悩み事を相談されていま、した。

## 三井造船生協



### ≪使用済み切手・コイン募金 寄贈≫

3月9日(水)、毛利静江会長と藤原キヌ子福祉委員会リーダーの2名が、「日本キリスト教海外医療協力会」の窓口となる岡山博愛病院を訪問し、三井生協の店頭で集めた使用済み切手とコイン募金の寄贈を行いました。この寄贈は毎年行われており、今年は使用済み切手7kgとコイン募金25,517円を贈呈しました。

寄贈された使用済み切手は、切手商や切手収集家の方々に買い取ってもらい、換金したお金は、アジア・アフリカの海外医療協力のために利用されています。海外医療協力とは、海外の保健医療事情に恵まれない地域に、医師や看護師、保健師などの医療従事者を派遣すること、もう一つは現地の医療従事者の養成や研修のために学資援助することです。

#### 岡山医療生協





#### ≪福島を忘れない≫

岡山医療生協では今年で5年目となる東日本大震災支援餅つきを3月16日、コムコム会館玄関前で行いました。未だに続く震災の傷あとに「私たちは震災にあった人たちの思いを忘れません」と、この時期に行っているものです。

餅つきの経験豊富な人たち、杵つきはまったくはじめてという若い世代や幼児連れの参加者など、つき手・もみ手・蒸し手、販売、前日準備と総勢50人が関わり、盛況に終わらせることができました。恒例となった協立保育園の園児たちは自分でもんだお餅をお持ち帰りしました。

希望者のみなさまにお餅が行き渡らない状況が 生まれ、大変ご迷惑をおかけしました。私たち岡 山医療生協はこのイベントだけでなく事業所や支 、部で常に募金を扱っています。

#### **倉敷医療生協**





すこしおメニュー学習

手芸教室・干支の小物作り

#### ≪「すこしお生活」の実践≫

倉敷医療生協では、医福連が奨める減塩生活6g「すこしお生活」の実践を支部で取り組んでいます。昨年11月には24時間蓄尿塩分調査に全支部から50人が参加しました。

3月12日には保健大会を、170名を超える参加者で開催しました。午前の分科会では、「すこしおメニュー学習」をはじめ、「医療介護保険学習会」「正しい歩き方」「脳いきいき班会」「サプリメントを考える」「手芸教室・干支の小物作り」の6分科会を開催し定員を超える参加がありました。「すこしおメニュー学習」分科会では学習後、管理栄養士の指導により減塩料理が紹介され、参加者は美味しく試食をしました。昼食は恒例の減塩弁当をみんなで美味しくいただきました。午後の記念請演は「おとなのための食べること」をテーマに倉敷市保健所の保健師さんの講演を拝聴し、食生活をはじめとした日常生活を振り返る良い機会と、なりました。

#### 岡山県労済生協(全労済岡山県本部)







#### ≪「SON(スペシャルオリンピックス日本)・岡山| ヘボランティア参加≫

全労済の50周年、NEXT50を機会に参画をはじめた「SON(スペシャルオリンピックス日本)・岡山」の地区大会へ、ボランティアスタッフとして参加しました。※SON・岡山の年度は暦年となるため、全労済年度とは異なります。

- 1. SON·岡山地区大会
- (1) 陸上競技 2015 年 5/24(日) 神崎山公園陸上競技場: ボランティア 11 名
- (2) テニス競技 2015 年 5/30(土) 二日市公園テニスコート: ボランティア 2名
- (3) バドミントン競技 2015年7/11(土) 岡山市総合文化体育館サブアリーナ: ボランティア2名
- (4) ボウリング競技 2015 年 9/5(土) サンフラワーボウル: ボランティア 18 名
- 2. **SON・岡山 EKS デ**ー 2015 年 9/26(土) SO (スペシャルオリンピックス) の創始者である EKS (ユニス・ケネディ・シュライバー) を記念するイベントとして、アスリートとともにスポーツに取り組むユニファイド形式の行事が開催され、全労済岡山県本部からもボランティア参加しました。両備ボウル: ボランティア 4 名

#### 津山医療生協



#### ≪保健委員会交流会を開催≫

3月15日に保健委員交流会を開催しました。 保健委員の学習、交流のために年1回開催しているものです。今回は15名の参加で、血圧・体脂肪測定の復習のあと、認知症予防によいと注目されているコグニサイズ(運動しながら頭の体操)を体験しました。とても好評で、大いに盛り上がり、さっそく班会でも取り上げています。

#### 生協おかやまコープ





福島県生協連会長へ贈呈

大槌高校のみなさんと交流

#### ≪組合員の商品利用で積み立てた 「復興支援金」をお届けしました≫

3月、組合員と役職員の代表が、福島県と岩手県大槌町を訪れ、視察・交流しました。福島では、空間線量計が何箇所にも設置され、誰も住めない町に除染廃棄物を詰めた袋が道路脇や庭先に多数積まれ、壊れた家は手つかずの状態で、時がとまったままの福島を実感しました。大槌町では、夏に岡山に招待した大槌高校を訪問し、生徒たちが町内 180 箇所を定点観測している取り組みに役立ててもらおうと iPad を贈呈し、支援しているAMDA 大槌健康サポートセンターも訪れました。

原発事故による被災地域の子どもと保護者を対象に、放射線の低い地域で過ごしてもらう保養を支援するため、福島県生協連に100万円を贈呈し、また日本生協連に被災地生協の活動を支援するため100万円を贈呈しました。おかやまコープは、被災地の方々に寄り添いながら、必要とされる支、援を継続してすすめていきます。

#### 岡山大学生協



#### ≪新入生サポートセンターの取り組み≫

岡山大学生協では、今年も多くの新入生に対し下宿生の方には「お部屋探し」を、自宅生の方には「自宅生&保護者説明会」を開催し、全新入生の約7割にあたる1,600名の新入生の新生活スタートをサポートすることができました。

また、新入生サポートセンターではお部屋探しや説明会だけではなく、岡山大学生協への加入、生命共済・火災共済の加入や、岡大必須教科書・生協お勧めパソコン・食育ミールカードなどのご提案も同時に行い、多くの新入生に生協に加入し、て頂き、新学期商品をご利用頂きました。

#### グリーンコープ生協おかやま



#### ≪地区組合員総会を順次開催≫

各地区では今年の地区組合員総会を順次開催しました。組合員の関心は高く、年々出席者も増え、多くの組合員から考え方や意見を聞くことができ、とても充実した総会となりました。

みんなの方針として生協の運営に反映させていくための地区組合員総会の開催によって、より一層地域の組合員主権の尊重・確立がすすんでいます。

## 公 告

岡山県生活協同組合連合会 会長理事 近藤 清志 (公印省略)

#### 岡山県生協連第57回通常総会の開催について

岡川県生活協同組合連合会定款第45条に基づいて、第57回通常総会を下記の通り開催します。

記

- 1. 開催日時 2016年6月28日(火) 10:00~12:00
- 2. 開催会場 オルガホール (岡山市北区奉還町一丁目 7-7)
- 3. 議 題
  - 第1号議案 2015年度事業報告書および決算関係書類承認の件(監査報告含む)
  - 第2号議案 2016年度事業計画および予算決定の件
  - 第3号議案 役員(補充)選任の件
- 4. 代議員 総会代議員選出基準にもとづいて、別紙にて会員生協にお知らせします。
- 5. 役員補充選任
  - ・定款第19条、第20条に基づき、役員の補充選任を行います。
  - ・役員選任規約第3条および第4条にもとづき、理事会で決定した選任する役員の数と選任区分(理事区、監事区)及び区分内の選出数は以下の通りです。
    - ①理事区 13名 会員理事区 10名 全体理事区(女性枠) 3名
    - ②監事区 3名

候補者の推薦は、会員生協および当連合会理事が推薦(役員選任規約第6条)し、役員選任議案 の通知は、定款第48条4項により行います。

以上

# 福島から仙台へ、そしていま

仙台に避難して来て4年以上経つひと、最近避難してきたばかりのひと、月の半分は福島、半分は仙台で暮 らすひと、夫の転勤で引越ししてきたひと。「ふくしまママの会きびたん'S」は、避難や転勤のため福島県から 仙台市に転入してきた母子の集まりです。

子育て支援団体の一般社団法人マザー・ウイングが、福島から来た母親たちの交流の場をつくろうと 2012 年5月から活動を始めました。

仙台に移住して2年目の女性は「放射線量については気持ちの問題だと思っていますが、夫と相談して子ど ものために引っ越しました。でも、避難者という意識は持っていません」と話します。また避難生活が5年に 及ぶと言う女性は「長女を出産後落ち込んでいた気持ちが、『きびたん'S』に参加するようになって "この子を ちゃんと育てていこう"と前向きになれた」と出会いに感謝します。マザー・ウイングはそんな母親たちの気 持ちにずっと寄り添ってきました。「皆さんそれぞれ地域のコミュニティに溶け込んでいますが、福島から避 難して来たことを進んで話すわけではありません。その点、ここに来れば避難生活のことをオープンに話せる し、一人じゃないことが分かって安心できるんだと思います」とスタッフの土田千鶴子さんは言います。

今年の3月11日で震災発生から5年になります。親戚から"もう戻ってきたら"と言われて悩んだり、自 宅を再建して福島に戻る知人を見て"私はまだ何も決まっていない"と焦ったりする母親が増えるのではない かと、土田さんは心配しながら見守っています。

「きびたん'S」に参加するお母さんは「前向きに頑張っているけれど問題が解決したわけではない。個人でで

きることには限りがある。支援を続けてほしい」と話していました。



福島から全国への県外避難者は 43.270 人(※)。これからも、福島で被災した人 たちの気持ちを尊重した取り組みが必要

※「福島県から県外への避難状況」 平成28年2月1日更新(福島県)

▲写真1:「地域のボランティアを含めて長く支援を続けていきたい」。 左から マザー・ウイングスタッフの土田千鶴子さん、ボランティアの善積則子さん と大西亜沙子さん、マザー・ウイング理事の小川ゆみさん。



▲写真2:2月の集まり。子ども を見守りながら母親たちもり ラックス。

## 2016年度 消費者月間講演会のご案内



#### ~消費者被害にあわないために~

2016年6月11日(±)

会場 岡山県医師会館 4 階第一会議室 岡山市北区駅元町 19番2号

募集 先着 150 名 参加費 無料

予定

語

14:30 開会

14:35 岡山県の消費者被害の状況

14:50 講演 実例で学ぶおもしろ講座

~消費者トラブルの手口と対策~

16:30 終了 閉会

#### 講師 弁護士 角田 龍平さん

高校3年生のときに若手漫才師の登竜門・「今宮 えびす新人漫才コンクール」で大賞を受賞。立命館 大学法学部に一芸入試(漫才)で合格。

その後、オール巨人の弟子を経て猛勉強に励み、 見事司法試験を突破。弁護士として、刑事事件、民 事事件を多く担当。

TBS「サンデージャポン」、 ニッポン放送「オールナイト ニッポン」などメディアにも 精力的に出演。

